

データベースの概要

注射薬および経管経腸栄養剤におけるナトリウムイオンやカリウムイオンなどの電解質に関するデータベースです。

処方設計時に電解質量の算出を行うことが可能です。

データベースの特徴

該当する薬品における有効成分の電解質の種類と、100mL（液剤）又は1g（固形剤）当りの電解質濃度の情報です。

例

『ピカネイト輸液』の添付文書（抜粋）

1. 組成

本剤は1容器中に次の成分を含有する注射液である。

成分	500mL	1000mL
塩化ナトリウム	2.92g	5.84g
塩化カリウム	0.15g	0.30g
塩化カルシウム水和物	0.11g	0.22g
塩化マグネシウム	0.10g	0.20g
炭酸水素ナトリウム	1.175g	2.35g
クエン酸ナトリウム水和物	0.10g	0.20g

本剤は、添加物としてクエン酸水和物（pH調整剤）を含有する。

電解質濃度 mEq/L						
Na ⁺	K ⁺	Mg ²⁺	Ca ²⁺	Cl ⁻	HCO ₃ ⁻	Citrate ³⁻ *
130	4	2	3	109	28	4

*：添加物に由来するものを含む。

『ピカネイト輸液』のデータ（概略）

電解質の種類	mEq/100mL
Na+	13
K+	0.4
Mg ⁺⁺	0.2
Ca ⁺⁺	0.3
Cl ⁻	10.9
HCO ₃ ⁻	2.8
Citrate ⁻⁻⁻	0.4

『ホスミシンS静注用0.5g』の添付文書（抜粋）

2) 本剤は14.5mEq/g(力価)のナトリウムを含有するので、心不全、腎不全、高血圧症等ナトリウム摂取制限を要する患者に投与する場合は注意すること。

『ホスミシンS静注用0.5g』のデータ（概略）

電解質の種類	mEq/g
Na+	14.5

データベースの機能

処方設計を支援

処方量から各薬品の電解質の摂取量を算出することが可能です。

電解質量のコントロールが必要な患者さんの処方設計のための情報としてご利用いただけます。

例

『ピカネイト輸液』と『ホスミシンS静注用0.5g』が処方された場合に、処方量からナトリウムイオンの摂取量を算出します。

患者さんのナトリウムイオンの適正摂取量を予め登録しておく、算出されたナトリウムイオンの摂取量との比較を行うことが可能です。

処方例

『ピカネイト輸液』1000mL（製剂量） 1日1回
『ホスミシンS静注用0.5g』2g（力価） 1日1回

▽ 処方薬のナトリウムイオンの摂取量を算出

ナトリウムイオン摂取量 = 10 × 13 + 2 × 14.5 = 159mEq

